



2025年9月3日

登別駅の「エレベーター」・「乗換こ線橋」・「新駅舎」が完成し、供用を開始します！

JR北海道では、国・登別市のご協力を頂き、2023年8月より登別駅へのエレベーター設置等のバリアフリー化と駅舎の新設について整備を進めてきました。この度エレベーター・乗換こ線橋と新駅舎が完成し、10月11日（土）始発列車より供用を開始しますので、お知らせします。同日には登別市およびJR北海道の主催で完成記念式典を開催予定です。

なお、現駅舎については今後リフレッシュ工事を開始し、列車をご利用されるお客様の待合スペースとして2026年度末頃の供用開始を予定しています。

1.整備内容

- (1)エレベーター（2基）・乗換こ線橋の新設
- (2)駅舎の新設

◀新駅舎のコンセプト▶

- ・歴史に佇み、現在を刻み、未来へと流れる駅
- ・道内有数の温泉地の玄関口として温泉街の風情を感じる駅

- ・道産木材を使用し木の温もりを伝えることにより、温泉街の雰囲気演出しています。
- ・登別市らしさや温泉地としての雰囲気を感じられる暖簾及び銘木駅名標を出入口付近に設置します。登別駅への訪問記念のフォトスポットとしてご利用ください。
- ・隣接する登別市観光交流センター「ヌプル」と連携することで利便性の向上を図ります。

- (3)新駅舎屋根南面への太陽光パネルの設置

- ・屋根上へ太陽光パネルを設置するとともに、CO₂フリー電気を活用することで、登別駅の使用電力は実質的に100%再生可能エネルギー電力となります。

【新駅舎外観（イメージ）】



【新駅舎内観（イメージ）】



【暖簾・銘木駅名標（イメージ）】



【新こ線橋外観（写真・8月現在）】



【新こ線橋内観（イメージ）】



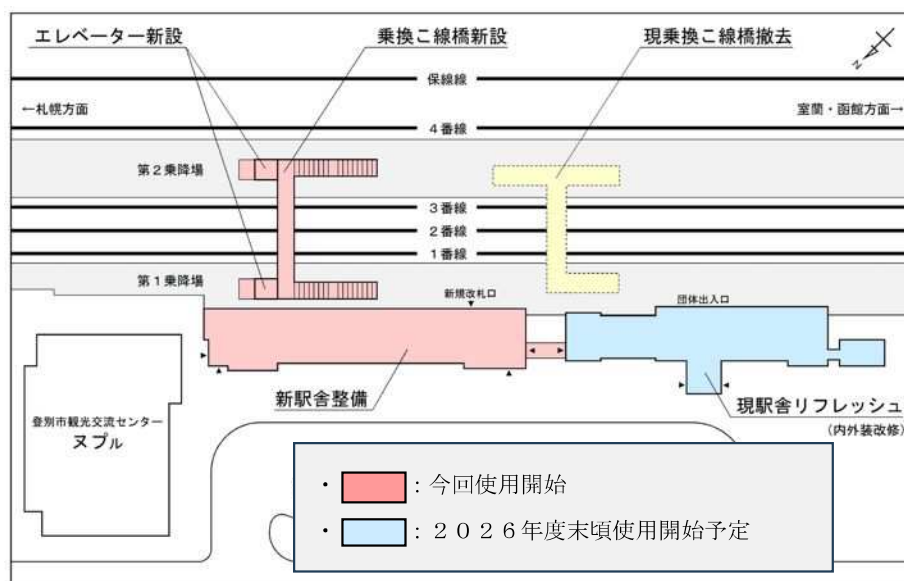
【新駅舎外観（写真・8月現在）】



【現駅舎リフレッシュ工事後（イメージ）】



【計画図】



歴史ある現駅舎については、今後リフレッシュ工事を開始し、列車を利用されるお客様の待合スペースとして、2026年度末頃より使用開始予定です。

2.完成記念式典の開催

- (1)日時 2025年10月11日(土) 10:00～10:40頃
- (2)場所 登別駅新駅舎(登別市登別港町1丁目4番地1)
- (3)主催 登別市・JR北海道
- (4)内容 主催者挨拶
来賓挨拶
テープカット
エレベーター及びこ線橋の渡り初め(※)
※エレベーター・こ線橋は始発列車から使用開始しています

3.その他

(1)現駅舎及びこ線橋について

現在の登別駅の駅舎は1935年(昭和10年)に竣工した木造駅舎(経年90年)で、登別軟石を壁材に使用しています。また、こ線橋についても駅舎と同じく1935年より使用開始しております。

(2)駅隣接の観光交流センター「ヌプル」に展示のジオラマもリニューアル！！

登別市にて、ヌプルに展示している駅周辺を模ったジオラマ(かたおかしんごさん作※)も新駅舎にリニューアルいたします。登別駅にお越しの際はヌプルにもぜひお立ち寄りください。



※かたおか しんご さん

1971年函館生まれ。2010年より、ブロックで遊べる施設「カネモリブリックラボ(函館市)」を拠点に活動。子供たちやご家族にブロック遊びの楽しみ方を伝える仕事を行っているほか、学校へ出張授業や各種イベントへの招聘、モデル制作を行っている。